

## 福島県立須賀川創英館高等学校 制服デザインイメージについて

開校にあたり、S I（スクールアイデンティティ）の発信を担う重要なツールとして、統合校「須賀川創英館高等学校」の制服を新たに制定することとしたのでお知らせします。

### 1. 決定までの経緯

今春から両校合同の制服検討委員会が検討を進め、両校教職員の他、同窓会や保護者、生徒代表等の意見もふまえながら検討を行ってきました。

### 2. デザインコンセプト

- 須賀川高校の「詰め襟／セーラー」の組み合わせは、近隣の高校の採用状況を見ても独自性を表現でき、地域での認知度も高いことから、統合校でも引き続き採用することとしました。
- 制服の刺繍、セーラー襟・リボン・スカートのラインには、須賀川高校の旧制服のパープルグレーよりも明るい「藤色」（明るく淡い紫）を採用しました。

「藤色」には東日本大震災で決壊した長沼地区の「藤沼湖」の湖底に咲いていた「奇跡の紫陽花」のイメージを重ねています。（図1）

色味を明るくすることで、落ち着き・品格と同時に、若さ・活発さを表現しました。（図1）

- 「デザイン」と「色」の両面から、2校の統合を象徴しています。
- セーラー上衣は、セーラー襟ブラウスとイートンジャケット（襟なしジャケット）を組み合わせ、気候の変化により柔軟に対応できるようにしています。（図2：図1の襟なしジャケットを脱いだ状態）
- イートン+セーラー襟ブラウスに加え、オプションとして襟ありのブラウスやネクタイ、スラックスを準備しました。（図3）

また夏服は半袖シャツ・セーラーに加え、ポロシャツを準備しました。

### 3. 機能性

- 生地・裏地ともストレッチ性・耐久性の高い独自素材を採用しました。
- 3年間の成長による体型変化への対応を考慮した機能を有しています。

